



第71回ヴェネツィア国際映画祭5部門受賞

衝撃の大ヒット作『アクト・オブ・キリング』を
被害者側から見つめ返す、慟哭のドキュメンタリー！



「あなたはなぜ、兄を殺したのですか——」

100万人の命を奪ったのは、“責任なき悪”のメカニズム。

製作総指揮：エロール・モリス／ヴェルナー・ヘルツォーク

ジョシュア・オッペンハイマー監督作品

FINAL CUT FOR REAL presents

ルック・オブ・サイレンス

THE LOOK OF SILENCE

a film by JOSHUA OPPENHEIMER

DIRECTED BY JOSHUA OPPENHEIMER PRODUCED BY SIGNE BYRGE SØRENSEN CO-DIRECTOR ANONYMOUS DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY LARS SKREE EDITOR NIELS PACH ANDERSEN SOUND EDITOR A.MICH HEINRIK GARNOV EXECUTIVE PRODUCERS WERNER HERZOG
ERIK MØRRESEN ANDRÉ SINGER EXECUTIVE PRODUCERS ANNE KOHNKE MARIA KRISTENSEN NEDI ELISE CHRISTENSEN JORAM TEN BRINK CO-PRODUCERS ANONYMOUS MAUS KAABLE AND TORSTEIN GRØDTE CLARTE MØRNER TVEIT LINE PRODUCERS
ANONYMOUS ANONYMOUS CO-OWNERS A MEDIA DIRECTOR TOM CH. LILLETVED EDITORS NIKI DAVIDSEN WITH THE SUPPORT OF DANISH FILM INSTITUTE DANISH FILM INSTITUTE DANISH FILM INSTITUTE DANISH FILM INSTITUTE DANISH FILM INSTITUTE DANISH FILM INSTITUTE DANISH FILM INSTITUTE
BERTHA BRITDOC DOCUMENTARY JOURNALISM FUND THE FINNISH FILM FOUNDATION THE FREEDOM OF EXPRESSION FOUNDATION SUNOVICE INSTITUTE DOUGLAS FAY FILM PROGRAM CENTRE FOR RESEARCH AND EDUCATION
IN ARTS AND MEDIA UNIVERSITY OF WESTMINSTER ARTS AND HUMANITIES RESEARCH COUNCIL PRODUCED IN COLLABORATION WITH ZDF IN COOPERATION WITH ARTE ORF XLR VPRO VISION MACHINE FILM PROJECT PRODUCED BY FINAL CUT
FOR REAL APS CO-PRODUCED BY ANONYMOUS MAKING MOVIES OY PIRAYA FILM IN ASSOCIATION WITH SPRING FILMS LTD INTERNATIONAL SALES RIGHTS CINEPHIL PHILIPPA KOWAROVSKY WWW.CINEPHIL.CO.UK FINAL CUT FOR REAL DANISH FILM INSTITUTE



2014年/デンマーク・インドネシア・ノルウェー・フィンランド・イギリス合作/インドネシア語・ジャワ語/103分/ビスタカラー/DCP/5.1ch/日本語字幕:岩辺いずみ/字幕監修:倉沢愛子
配給:トランスフォーマー 宣伝協力:ムヴィオラ © Final Cut for Real Aps, Anonymous, Piraya Film AS, and Making Movies Oy 2014

www.los-movie.com

71 第71回ヴェネツィア国際映画祭5部門受賞
審査員大賞・国際映画批評家連盟賞・ゴールデンマウス賞
ヨーロッパ映画批評家協会最優秀ヨーロッパ地中海映画賞・人権映画ネットワーク賞

映画史上最も偉大で、
最もパワフルなドキュメンタリーだ。
人間という存在に対する、実に奥深い洞察である。
——エロール・モリス

深遠で、洞察力があり、驚くほど見事な映画だ。
——ヴェルナー・ヘルツォーク

“殺人”という大罪を犯してもなお、なぜ彼らは罪の意識なく生きられるのか？

常識を覆す、被害者と加害者の“対面”から、
100万人規模の大虐殺に隠された、“責任なき悪”のメカニズムが浮かび上がる——



虐殺で兄を失った青年は、自ら加害者に会い、その罪を直接問いかけた。
静かな衝撃の中に、50年間沈黙を強いられた母と子の想いが溢れ出す——

虐殺で兄が殺害された後、その弟として誕生した青年アディ。彼の老いた母は、加害者たちが今も権力者として同じ村に暮らしているため、半世紀もの間、亡き我が子への想いを胸の奥に封じ込め、アディにも多くを語らずにいた。2003年、アディはジョシュア・オッペンハイマー監督が撮影した、加害者たちへのインタビュー映像を目にし、彼らが兄を殺した様子を誇らしげに語るさまに、強い衝撃を受ける。

「殺された兄や、今も怯えながら暮らす母のため、彼らに罪を認めさせたい——」
そう願ったアディは、2012年に監督に再会すると、自ら加害者のもとを訪ねることを提案。しかし、今も権力者である加害者たちに、被害者家族が正面から対峙することはあまりに危険だ。眼鏡技師として働くアディは、加害者たちに「無料の視力検査」を行いながら、徐々にその罪に迫ってゆく。そこで目の当たりにしたのは、加害者の誰もが、虐殺を

自分の責任とは捉えていないという事実。長い沈黙を破り、加害者と対峙したアディの勇氣によって、殺人の実行者たちが、責任を感じることなく大罪を犯し得る心理的メカニズムが浮かび上がってくる。

ヴェネツィア映画祭でお披露目された本作は、「アクト・オブ・キリング」と対照的に被害者に密着することで、恐怖が彼らの日常生活に密着している様子を描き出し、「前作を上回るほどの傑作」と大絶賛され審査員大賞ほか5部門を制覇。公式上映後はスタンディング・オベーションが鳴り止まず、母と子の想いが溢れ出す感動的な結末、そして映画が暴き出した“人間”という存在の不条理に、会場は声にならない驚きと、観客たちのすすり泣く声で満たされた。前作に引き続き、ヴェルナー・ヘルツォーク、エロール・モリスの2大巨匠が製作総指揮。完成した映画に、前作以上の驚きと惜しみない賞賛の声を寄せている。



<「アクト・オブ・キリング」とは?>

本作と対をなす映画「アクト・オブ・キリング」は2014年に日本で公開され驚異的な大ヒットを記録したドキュメンタリー。60年代インドネシアで密に行われた大虐殺の実行者たちにカメラを向け、自分たちの行った虐殺を自ら演じて映画を作るという前代未聞の手法が大きな話題を呼んだ。

製作総指揮: エロール・モリス「フォッグ・オブ・ウォー」/ ヴェルナー・ヘルツォーク「フツカルド」/ アンドレ・シンガー

製作: シーネ・ビュレ・ソーレンセン / 製作プロダクション: ファイナルカット・フォー・リアル

製作・監督: ジョシュア・オッペンハイマー / 共同監督: 匿名 / 撮影: ラース・スクリー

2014年 / デンマーク・インドネシア・ノルウェー・フィンランド・イギリス合作 / インドネシア語・ジャワ語

日本語字幕: 岩辺いずみ / 字幕監修: 倉沢愛子 / 配給: トランスフォーマー / 宣伝協力: ムヴィオラ



6月下旬より、慟哭のロードショー!

全国共通特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中!

劇場窓口でお買い求めの方に、
“特製ポストカード”をプレゼント!(数量限定)



【シアター】
イメーজフォーラム

【自由席・整理券・定員入れ替え制】

TEL.03-5766-0114 | www.imageforum.co.jp

渋谷駅より徒歩8分 宮益坂上り、次の信号スターバックスコーヒー右手入る



www.los-movie.com

twitter: @los_movie

facebook: www.facebook.com/lookofsilence.movie

順次公開

千葉劇場 043 227-4591

横浜シネマ・ジャック&ベティ 045 243-9800

109シネマス川崎 0570 007-109

109シネマス湘南 0570 016-109